



平成 31 年 3 月 26 日
海 上 保 安 庁

海上保安庁と JAMSTEC が協定を締結！ ～我が国の海洋研究の発展を目指して～

3 月 19 日海上保安庁海洋情報部と国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）は、海底地殻変動観測*などの海洋研究開発分野の一層の発展を図るため、連携協定を締結しました。共同での研究や観測を通して、我が国の海洋研究の発展に貢献していきます。

- 無人観測機器の普及など海洋の調査に関する技術には、著しい発展が見られます。これら技術を最大限活用することで、海洋調査の大幅な効率化と高精度化が期待できます。
- 海域での地震や噴火への備えも急務の課題です。自然災害への効果的な備えには科学的知見が不可欠で、海底地殻変動等についての研究の発展が、ますます重要となっています。
- このような状況を背景として、加藤幸弘海洋情報部長と平朝彦 JAMSTEC 理事長は、海洋研究開発分野の一層の発展を図ることに合意し、平成 31 年 3 月 19 日、以下の協定に署名しました。

「海上保安庁海洋情報部と国立研究開発法人海洋研究開発機構との間の海洋研究開発分野における包括的連携推進のための基本協定」

連携分野

- (1) 共同研究等の研究協力
 - (2) 人材交流及び技術交流
 - (3) 研究施設及び設備の相互利用
 - (4) 普及啓発活動等の社会貢献
 - (5) その他本協定の目的を達成するために両機関が必要と認める協力
- 本協定に基づき、共同研究や観測等を実施し、我が国の海洋研究の発展に貢献していきます。具体的な協力として、海上保安庁の測量船と JAMSTEC の船舶による海底地殻変動の共同観測や、海上保安庁が有する調査データと JAMSTEC が有するサンプリングデータの共有による海底火山の成り立ちを解明する共同研究などを予定しています。

* GNSS (GNSS: Global Navigation Satellite System) と音響測距を組み合わせ、海域の地殻変動を観測する。詳細は次頁参照。

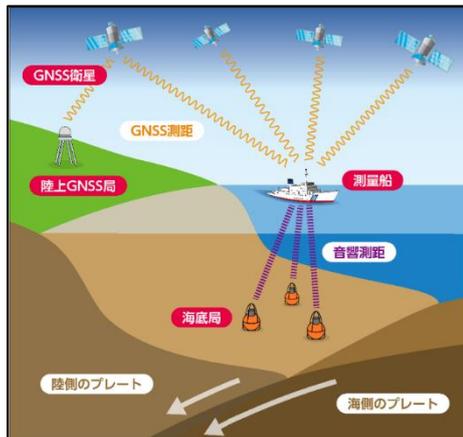


締結式の様子

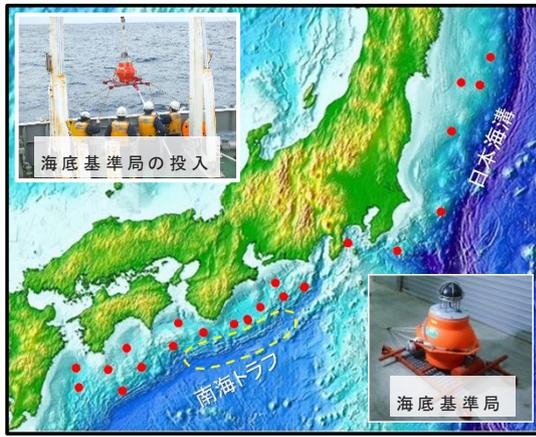
(写真左：加藤幸弘海洋情報部長 写真右：平朝彦 JAMSTEC 理事長)

○海上保安庁における海底地殻変動観測

GNSS と海中での音響測距技術を組み合わせた海底地殻変動観測により、プレート境界である日本海溝や南海トラフ沿いの陸側のプレート上に設置した海底基準局の精密な動きを測定し、巨大地震の発生メカニズムの解明等に貢献しています。

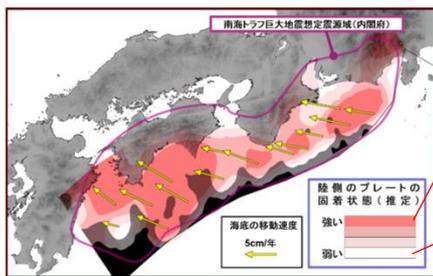


海底地殻変動観測のイメージ

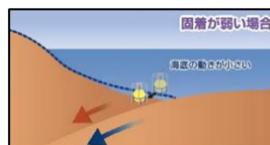
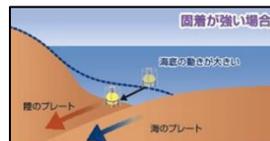


海底基準局配点図

●：海底基準局設置地点
 □：新規海底基準局設置予定区域（平成31年度）



南海トラフにおける固着域分布図



固着の強弱を知ることにより、場所によるひずみの溜まりやすさの違いを知ることができます。